

技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.33 2018/10/23

チームワークで小学校鍛冶体験授業7年目



7月後半に予定されていた4年生の体験授業が猛暑のためにやむなく中止となり、子どもたちをがっかりさせていましたが、9月28日のさわやかな好天の下、実施することができました。4年生の子どもたちは鍛冶体験工房と刃物工芸館を事前に見学し、自分なりに疑問点をぶつけて意欲的に学習してきただけあって、この日の鍛冶体験も皆真剣な姿で取り組んで



くれました。今回7年目を数える小学校での授業。郷土の地場産業を考える大事な授業になっています。

伝統工芸士会中野茂さんが実際の指導にあたって下さいました。また、小刀を使っの鉛筆削り実習では、NPO「工房あったか」より近藤さんなど3名のメンバーからご協力をいただきました。こうした地域内の有志メンバーとあらたなチームワークが生まれたことが大きな収穫でした。この様子は新聞等でも紹介され、与板が「打刃物のまち」として子供たちの教育

の中にもしっかりと受け継がれていることを広く知ってもらうことができました。子どもたちのお礼の手紙の一部を紹介します。

☆ぼくは打刃物の体験をして、刃物をハンマーでたたくのが大変だったけど、慣れてきたらうまくできたり、楽しかったです。

☆わたしは打刃物を作ってハンマーでたたくとき、力いっぱい入れてたたくので大変でした。火花が飛ぶかこわかったけど、飛んでこなかったです。切れ味のいいのを作りたかったので失敗しないようにしました。

☆打刃物をいっしょに作ってくれてありがとうございました。ハンマーは重たいのに毎日やっているからスゴイと思いました。与板の伝統工芸品をなくさないようにしてください。

島田クン、11月に東京で隊員活動を発表へ



9月ビッグサイトでの国際展示会、県外の「削ろう会」などにも積極的に参加して、自ら選んだ打刃物職人の道を通し、地域おこしに貢献する島田拓弥クン。

11月には東京で開催の地域おこし協力隊の実践発表会に出て歩みを発表することが決まりました。後につづく若者たちのために、がんばって！！